

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	①市民参画・協働	1	市民参画・協働

事業名	新年互礼会事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市関係者並びに市内にある企業、団体の関係者が相互に交流を深め、市政の協力依頼及び意見・情報交換等を行い、市政の円滑な推進を図ること。
(事業概要等)
市内の企業、団体の関係者等を招き、新年の挨拶を行った後、親睦を深めるとともに、今後の市政への協力を仰ぎ、意見・情報交換を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	293	380	
うち市負担分(千円)	0	0	293	380	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
新年互礼会参加者数	人	-	-	約250	約300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となった。感染予防対策として、招待者数を削減し、開催時間を短縮するなどした上で開催した結果、約250人が参加し、意見・情報交換を行い、相互に交流を深めることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

R3年度からの改善点	限られた予算のなかで、会場設営などの見直しを行い、事業費の削減を行ってきた。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となった。感染予防対策として、招待者数を削減し、開催時間を短縮するなどした上で開催した結果、約250人が参加し、意見・情報交換を行い、相互に交流を深めることができた。今後の開催方法などについては、共催である泉大津商工会議所との協議が必要である。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 様々な方が出席し、親睦を深め、意見・情報交換を行うことにより、市政への理解や協力を得ることができ、本市への発展に繋がると思われる。そのため、参加者同士の懇談時間を長く設けるなど、更に活発な意見・情報交換の場を提供していく。
改革・改善策等の具体的内容	令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模・内容を縮小した上で開催した。今後の開催方法などについては、共催である泉大津商工会議所との協議が必要である。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	①市民参画・協働	1	市制への市民参画推進

事業名	有功者表彰事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
永年、市の行政、教育、文化、産業および社会福祉などの増進その他公益に関し、その功労が顕著な者に対して市民とともに表彰し、功績を称えること。
(事業概要等)
毎年、文化の日(11月3日)に表彰状、有功章および記念品を送り、表彰式典を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	476	558	176	1,141	
うち市負担分(千円)	462	558	176	1,041	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
有功者表彰式典開催数	回	1	1	1	1
新たな有功者	人	5	2	0	5
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
永年、市に貢献された方々を市民とともに祝い、行政と市民の距離を縮めることにより、親睦が深まり、様々な意見交換がなされるようになった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

R3年度からの改善点	平成21年度より参加負担金を徴収している。祝賀会で食事を提供する際に、仕出屋にテクスピア大阪まで配達してもらっていたが、食中毒等の衛生面を考慮し、令和2年度よりホテル開催に変更した。ホテルで調理から提供まで行うことで、安全に食事を提供する。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	コロナ禍により、令和2年度及び同3年度は規模を縮小して開催した。令和4年度については、被表彰者の該当がなく、開催していない。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 永年にわたり、本市の発展、進展に寄与された方の功績を称える表彰式であり、今後も継続して行うが、開催方法について検討が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	令和2年度及び同3年度については、新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小して実施した。約100人来ていた招待者も約20人に制限し、飲食を伴う祝賀会は中止した。令和4年度は、被表彰者の該当がなく、開催していない。令和5年度において、令和元年度以前と同様の規模で開催する場合、会場設営・運営についての検討が必要である。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	1	地域ブランドの活用と確立

事業名	マスコットキャラクター運営事業	担当課名	秘書広報課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
マスコットキャラクター「おづみん」を活用し、さまざまな場面で活用することで、市民の郷土愛の醸成や市内外へのシティセールス(地域PR)を図る。
(事業概要等)
「おづみん」の着ぐるみの貸し出し、イラスト使用申請に係る許認可、おづみんグッズの販売、市ホームページ「おづみんの部屋」やSNS「おづみんTwitter」での活動報告を行うことで、おづみんを通じて市内外へ市のPRを行う。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,151	1,631	1,520	1,287	
うち市負担分(千円)	787	37	0	1,035	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
イラスト使用承認件数(一般向け)	件	15	23	29	35
着ぐるみ参加イベント数	件	19	17	62	70
着ぐるみ貸出件数(一般向け)	件	5	10	29	35
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市のマスコットキャラクターとして、地域のイベントに数多く参加、またイラストを活用したチラシや雑貨品の販売などを通じて市民の郷土愛の醸成に大きく寄与した。また、「おづみんTwitter」で活動を報告を行うことにより、市内外を問わず、広く本市のシティセールス(地域PR)ができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

R3年度からの改善点	着ぐるみ活動の一部民間委託(平成27年7月) 『おづみんTwitter』を開始(平成28年8月)
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	令和4年度は市制施行80周年記念で、市内で多くのイベント開催され、「おづみん」の活動も活発になった。一方で、ゆるキャラグランプリが終了するなど、全国的な規模で開催されるイベントが減少し、市外に向けてのPRする場が減少している。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 子どもからお年寄りまで幅広く人気は高く、市の魅力向上に大きく寄与している。また、おづみんを通じて、本市に関わりのない人にもPRできている。
改革・改善策等の具体的内容	老若男女に人気のある「おづみん」が、市内各所で開催されたイベントに参加したことで、イベントのにぎわいの創出、郷土愛の醸成に寄与した。今年度は、市内での活動に加え、子育て世代が多く来場すると見込めるイベントや市外で開催されるゆるキャライベントに積極的に参加し、「おづみん」をきっかけに本市に関心をもってもらい、市のシティプロモーションを行うとともに「おづみん」の認知度向上を図っていく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	①行財政運営	2	歳入の確保

事業名	泉大津市ふるさと応援寄附事業	担当課名	秘書広報課
-----	----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	柔軟で健全な行財政運営をめざし、ふるさと納税による寄附促進と地元特産品等のPR促進及び販売促進との相乗効果を図る。
(事業概要等)	泉大津市を応援し、ふるさと応援寄附を行っていただいた方に謝礼としてふるさと産品を進呈する。ふるさと納税制度への参加促進及び新たな返礼品の創出や改良を行うことで、安定的な寄附金の獲得に努める。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	196,466	265,205	301,848	436,553	
うち市負担分(千円)	196,466	265,205	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
寄附金額	千円	586,934	638,573	664,757	880,000
寄附件数	件	17,312	16,876	17,583	23,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
寄附者に向けてインターネットを活用した広告の実施、年末にInstagramなどSNSを活用したPRを実施。また、事業者に対して、ふるさと納税制度への参加を促すため職員による訪問活動の実施、加えて、民間企業で商品企画などの経験のある職員をふるさと納税担当として配置し、新規返礼品の創出や既存返礼品の改良などで、前年度と比較し寄附金額は上回る結果となった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

R3年度からの改善点	インターネット活用した広告を実施したことで、少ない費用で大きな寄附効果を得ることができた。また、民間企業で商品企画などの経験がある職員を配置し、新規事業者や新規返礼品の登録数の増加により、寄附額の増につながった。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	本市の返礼品は、地場産品である毛布やニット製品で大半を占め、ふるさと納税で人気のある肉・魚介類・米などの食品関連の返礼品がかなり少ない。今後、安定的に寄附金額を獲得するためには、人気のある食品関連の返礼品や毛布以外のジャンルを増やす必要がある。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 寄附金が各事業の財源となっていることから、更なる寄附額増加のため取り組みを進めていく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	事業者に向け、ふるさと納税で人気のある食品関連や新たなジャンルの返礼品の掘り起こしを目的に、令和5年度から新規返礼品や既存返礼品の改良に要する費用の一部を支援し、開発や改良のさらなる促進を図る。また、寄附者の9割以上がインターネットを通じて寄附を行っていることから、ネット広告を拡充し、寄附額増に向けて効率的かつ効果的な施策を展開していく。加えて、ふるさと納税担当職員を中心に、新規事業者への訪問活動や新規返礼品の創出を引き続き行っていく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	①行財政運営	3	行政改革の促進

事業名	ふるさと納税型クラウドファンディング活用支援事業	担当課名	秘書広報課
-----	--------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	本市の抱える課題の解決の為に、民間事業者等が創意工夫して実施する事業に対し、資金調達面から支援する。
(事業概要等)	社会課題解決のために民間事業者等が工夫して実施する事業に対し、資金調達を円滑にすることを目的に、泉大津市ふるさと応援寄附制度を組み入れたクラウドファンディングにより集まった寄附金を事業者に交付する。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	/	4,717	4,459	15,035	R3～新規事業 財源:寄附金
うち市負担分(千円)	/	0	3	35	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
寄附金額	千円	/	4,717	4,456	15,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
社会課題解決プロジェクトを募集し、審査委員会での審査を経て認定した「新型コロナウイルス感染症・ワクチン後遺症対策プロジェクト」と「真の健康状態の可視化と、免疫力・自己治癒力の正常化(向上)への挑戦～泉大津版健康診断開発と泉大津養生所開設」について寄附を募集し、2つのプロジェクトともに目標金額を上回る寄附金が集まり、社会課題の解決につながる取組みを実施することができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	令和3年度プロジェクト「コロナ予防・養生・後遺症改善プログラム」は、26日間募集し、4,717,000円の寄附が集まったものの、目標は未達成であった。未達成の要因として、募集期間が短いことが考えられ、令和4年度のプロジェクトでは最大募集期間の3ヶ月間十分に確保できるよう実施し、目標金額の寄附が集まり、プロジェクトを実施することができた。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	令和4年度は目標の寄附金額が達成されたが、プロジェクトにおいて、目標金額がかなわないと、予定するプロジェクト内容に制限がかかるため、今後においてもプロジェクトの魅力の発信により、寄附金額の目標達成に向け改善が必要である。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 社会課題の解決に資するプロジェクトが多く実施されるよう、プロジェクトの目標金額の達成に向け改善が必要であるため。
改革・改善策等の具体的内容	寄附金額目標達成に向け、連携事業実施者と綿密な協議を重ね、目標金額の設定、最大募集期間(3ヶ月)内に達成するスケジュール調整、魅力的なポータルサイトページ作成等を検討し、官民ともに責任を持って取り組む。 また、情報発信については、限定的であったことから、多くの人に取組みを知ってもらえるようSNS等の対外的なチャンネルを増やすことも検討する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	①行財政運営	3	行政改革の促進

事業名	元気な泉大津づくり政策研究事業	担当課名	秘書広報課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	人口減少、少子高齢化や食料問題など社会環境が大きく変化する中、これらに対応し、市民サービスを維持・向上させることを目的とする。
(事業概要等)	職員が他の自治体や民間企業等に赴き情報収集し、そこで得た情報をもとに外部有識者の知見も活用し新たな施策展開を模索する。 また、市をリビングラボとして実証実験を行い、本市の捉える社会課題の解決につながる取組みを創出する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,664	7,359	11,378	12,982	令和3年度～ 政策推進課より移 管
うち市負担分(千円)	7,664	7,359	7,959	10,782	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
事業化に関わる視察の件数/視察を行った課題件数	件	1/3	0/5	18/45	15/30
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
職員の視察、外部有識者のアドバイスや人脈の活用、リビングラボ推進事業補助金により、民間事業者と連携して新たな社会課題の解決に向けた取組みを創出することができ、市民サービスの向上や新たな施策展開につながった。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	新型コロナウイルスの感染拡大を防止しながら、経済社会活動を継続し、積極的な視察及び外部有識者からの知見や情報の収集に努めた。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	当該事業を活用して視察等を行う職員が一部の者に限られている。新型コロナウイルスの感染拡大を防止しながら、経済社会活動を継続し、減少していた視察や外部有識者からの知見や情報を収集する機会が増加したが、市民サービスの向上及び業務の効率化をさらに推進する為には全庁的に取り組む必要がある。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 本市が抱える課題と民間企業等が有する技術やノウハウを今まで以上にスピーディーに結びつけ、課題解決に向けた取組みを進めていく必要があるため。
改革・改善策等の具体的内容	人口減少・少子高齢化等、社会構造の転換期の中で、経済面・財政面での制約がある中においても、これまでの市民サービスを維持しながらスピーディーに社会課題を解決できるよう、官民連携の取組みの推進・情報の蓄積・庁内での共有等、全庁的に取り組んでいく。 そのため、本市の課題を抽出し、その課題を広く公に提示することで、民間企業等が本市の課題に対して提案しやすい環境を整え、スピーディーに社会課題の解決に向けた取組みの創出を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	②市政の情報発信	1	広報活動の充実

事業名	広報活動事業	担当課名	秘書広報課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
すべての市民に情報が届けられるまちをめざし、ホームページやSNSを活用し、行政情報や本市の魅力などをより多く提供することで市民の利便性向上を図る。また、さまざまな情報を随時、公開・公表することで行政の透明化を図ることを目的とする。
(事業概要等)
ホームページやLINEをはじめとしたSNSなどで、市の取り組みや市政に関する情報を提供するとともに、市の認知度の向上と魅力を発信していく。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,054	9,635	9,543	33,900	
うち市負担分(千円)	3,914	2,408	1,711	28,504	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
ホームページのアクセス数	回	2,729,111	2,564,858	1,891,745	2,500,000
フェイスブックのフォロー数	件	2,065	2,214	2,294	2,500
LINEのお友だちの数	件	7,847	19,358	66,822	68,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和4年11月にLINEスタンプ無料配布を行った結果、お友だちの数は大幅に増えた。このことにより、行政情報やイベント情報などを今までより多くの人に配信出来るようになった。また、災害や緊急の情報など伝えたい情報を迅速かつ同時に多くの人に配信できるようになった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

R3年度からの改善点	令和元年度にはLINEを導入し、プッシュ型の情報発信ツールとして活用している。令和4年7月には、市公式LINEにお友だち登録している人が、市からの情報を選択して受信ができる「受信設定」を導入するとともに、市ホームページと連動させることで、LINEから「イベント情報」や「知りたい情報」を簡単に検索できる環境を整え、利用者の利便性の向上を図った。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	一人でも多くの人に情報を迅速に届ける、また必要な情報を必要としている人に確実に届けられる環境整備が必要。特に、ホームページやLINEをはじめとしたSNSなど、デジタル機器で情報を受け取ることができない人に、どのように情報を届けるかを常に検討する必要がある。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 広報活動は、市民サービスの向上には必要不可欠な事業である。加えて、ふるさと納税やふるさと納税型クラウドファンディングの寄附額増には、市外への情報発信も重要である。市民へ情報を確実に届けられる環境を整えるとともに、市外への情報発信のための新たな媒体について検討が必要である。
改革・改善策等の具体的な内容	令和5年度を「シティプロモーション元年」と位置づけ、市内外へ積極的にプロモーション活動を行う。そのために部局横断で市の特徴的な取り組みを選定し、発信方法を検討するワーキンググループを組織し、全庁的にシティプロモーションを推進することで、市の認知度を高め、定住促進及びふるさと納税の寄附額増へとつなげる。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	②市政の情報発信	1	広報活動の充実

事業名	広報紙発行事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市の重要施策や行政情報などを広く市民に伝え、市政への理解促進や生活関連情報、イベントなどの情報を市民に提供することを目的とする。
(事業概要等)
毎月31,000部発行し、自治会での配布、個人からの申し出によるポスティング、公共施設や市内にある公共交通機関3駅、スーパーマーケットなどの入口付近に配架し、一人でも多くの人に配付する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	14,379	14,346	19,518	32,983	
うち市負担分(千円)	13,305	13,160	18,344	29,737	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
広報紙配布実数	部(月)	30,194	29,307	28,580	30,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
自治会への配布数は減少傾向にある一方、自治会未加入者へのポスティングはわずかだが増加傾向にある。公共施設、市内にある公共交通機関の駅、スーパーマーケットやコンビニエンスストアにも配架し、多くの市民に広報紙を手にとってもらえるようにしている。また、ホームページへの掲載、毎月1日にはLINE登録者に配信を行い、ウェブからでも手軽に見てもらえるよう周知を行っている。

【これまで実施した事務の見直し点】

R3年度からの改善点	令和2年10月からはLINEアンケートを導入し、若者から高齢者までの幅広い意見を紙面に反映し、わかりやすい紙面づくりに努めている。また、令和4年11月号から作成業務の外部委託を行い、民間企業のノウハウを生かしたレイアウトで、さらに読みやすい、わかりやすい紙面とし、アンケート結果からも、おおむね好評を得ている。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	作成業務の外部委託により見やすさは向上したが、市民が求めている情報を限られた紙面ではいかにわかりやすく、伝えることができるかが課題。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 紙面のレイアウトを統一化したことで、「読みやすさ」や「わかりやすさ」は向上したが、時勢にあわせた情報を「見やすく」「わかりやすい」紙面づくりは引き続き必要。また、広報紙の配布方法について、コア業務に注力できる体制の構築が必要と捉え、外務委託の検討が必要。
改革・改善策等の具体的内容	LINEアンケートでいただいた意見や要望に注視し、読み手が何を求めているのかを把握することで、わかりやすい紙面づくりを行っていく。広報紙の配布方法について、令和5年度に外部委託化を実施し、広報担当職員及び応援職員がコア業務に注力できる環境を整備する。	